



2027年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年10月13日

上場会社名 タマホーム株式会社

上場取引所

東・福

コード番号 1419

URL <https://www.tamahome.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 玉木 伸弥

問合せ先責任者 (役職名) 取締役戦略本部長兼経理部長

(氏名) 西堀 祐介 (TEL) 03-6408-1200

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無

: 有

決算説明会開催の有無

: 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年5月期第1四半期の連結業績(2026年6月1日～2026年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年5月期第1四半期	27,613	△5.1	△4,559	—	△4,960	—	△3,329	—
2026年5月期第1四半期	29,095	△20.8	△4,435	—	△4,439	—	△2,833	—

(注) 包括利益 2027年5月期第1四半期 △3,325百万円(—%) 2026年5月期第1四半期 △2,890百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年5月期第1四半期	△114.85	—
2026年5月期第1四半期	△97.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年5月期第1四半期	102,418	22,751	22.2
2026年5月期	86,468	29,700	34.3

(参考) 自己資本 2027年5月期第1四半期 22,716百万円 2026年5月期 29,669百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年5月期	—	0.00	—	125.00	125.00
2027年5月期	—	—	—	—	—
2027年5月期(予想)	—	0.00	—	130.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年5月期の連結業績予想(2026年6月1日～2027年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	16.3	7,500	95.2	6,700	78.3	4,000	229.7	137.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年5月期1Q	29,455,800株	2026年5月期	29,455,800株
② 期末自己株式数	2027年5月期1Q	467,642株	2026年5月期	467,642株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年5月期1Q	28,988,158株	2026年5月期1Q	28,988,208株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在における入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後経済情勢・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスクや不安定要素により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる事項については、[添付資料]3ページ[連結業績予想などの将来予測情報に関する説明]をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(会計方針の変更)	P. 8
(セグメント情報等の注記)	P. 9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 10
3. 補足情報	P. 11
(1) 受注及び販売の状況(連結)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、原材料価格や物価の上昇、中東情勢の影響、金融資本市場の変動に加え、自然災害による経済活動への影響も懸念されるなど、先行きは依然として不透明な状況が続いています。

当社グループの属する国内住宅業界におきましては、新設住宅着工戸数は弱い動きが続いていることに加え、住宅ローン金利の上昇や建築コストの高止まり等を背景に、住宅取得に対する消費者の慎重な姿勢が続いています。

このような事業環境の中で当社グループにおきましては、2027年5月期を初年度とする5ヵ年の中期経営計画「タマステップ2031」をスタートし、事業競争力の強化と収益力の再構築に取り組んでいます。中核事業である注文住宅事業の収益基盤の強化に加え、戸建分譲事業、リフォーム事業及び不動産事業の成長を図るとともに、人的資本への投資や経営基盤の強化を進め、持続的な成長と企業価値の向上に努めています。

各事業の概略は以下のとおりです。

(住宅事業)

住宅事業においては、当第1四半期連結累計期間は1ヶ所の出店を行い、営業拠点は235ヶ所となりました。注文住宅の引渡棟数は487棟と前年同期比で12.4%減少しました。

注文住宅事業については、住宅取得に対する消費者の慎重な姿勢が続く中、営業人員の増強や集客チャネルの多様化を進めるとともに、紹介カウンターの活用や来場顧客の成約率向上に向けた取り組みを強化し、受注機会の拡大に努めました。商品面では、平屋需要をはじめとする顧客ニーズの変化を捉えた商品ラインナップの拡充や、地域特性に応じた商品の展開を進めるなど、商品競争力の強化に取り組みました。さらに、資材価格の上昇が続く中、調達先の多様化や販売価格の見直し等を進め、収益性の確保に努めました。

リフォーム事業については、保証延長工事を中心に、既存のオーナー様に対する提案活動を推進するとともに、エコキュート等の商材を組み合わせたクロスセル施策の強化に取り組みました。クロスセル施策が各地区に浸透したことにより、保証延長工事の平均受注単価が上昇したほか、受注高及び売上高は前年同期を上回りました。また、資材費及び人件費の上昇に対応するため、一部工事の販売価格を見直すなど、適正な利益の確保にも努めました。

以上の結果、当事業の売上高は14,199百万円（前年同期比11.3%減）、営業損失は5,327百万円（前年同期は営業損失5,353百万円）となりました。

(不動産事業)

不動産事業における戸建分譲事業については、当第1四半期連結累計期間の引渡棟数は325棟と前年同期比で11.3%増加しました。また、土地仕入を積極的に進めたことで販売可能物件が増加し、受注が前年同期を上回るなど、販売は堅調に推移しました。引き続き、在庫の適正化と回転率を重視した販売活動を推進するとともに、地域の需要動向を踏まえた物件の供給に取り組みました。

サブリース事業については、都心のオフィス需要が堅調に推移する中、既存物件のリーシング活動や賃料改定に取り組むとともに、新規物件の受託を進めました。一方、所有物件の売却及び既存サブリース物件のマスターリース契約終了に伴う賃料収入の減少に加え、前年同期に売上計上した大型レイアウト変更工事の反動等により、売上高及び利益は前年同期を下回りました。

オフィス区分所有権販売事業については、都心の中小型オフィスの賃貸市況が堅調に推移する中、保有物件の販売及びリーシング活動を推進しました。前年に仕入れた物件の区分販売契約が想定よりも早いペースで進捗するなど、販売は堅調に推移しました。一方、都心の中小型ビルを中心に物件獲得競争や仕入価格の高止まりが続いていることから、収益性を重視した物件の選別に努めました。

マンション事業における中古マンション区分買取再販事業については、仕入れた物件の販売が想定よりも早いペースで進みました。一方、仕入価格の高止まりや物件獲得競争が続く中、安定的な仕入れに向けた仕入ルートの強化に取り組みました。

以上の結果、当事業の売上高は11,978百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は456百万円（同38.7%減）となりました。

(金融事業)

金融事業においては、住宅ローンについて、借入金額の増加等によりフラット35の手数料単価が前年同期を上回った一方、利用率は前年同期を下回りました。損害保険については、火災保険の付保率及び収入保険料の平均単価が前年同期を下回りました。また、生命保険については、手数料収入が前年同期を上回った一方、一時払い商品の契約件数の減少等により初年度手数料は前年同期を下回りました。

以上の結果、当事業の売上高は220百万円（前年同期比27.3%増）、営業利益は49百万円（前年同期は営業損失20百万円）となりました。

(エネルギー事業)

エネルギー事業においては、福岡県大牟田市で運営するメガソーラー発電所において、九州電力株式会社による出力制御における代理制御の仕組み導入及び天候要因等により、売電実績は前年同期を上回りました。

以上の結果、当事業の売上高は218百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は77百万円（同10.3%増）となりました。

(その他事業)

その他事業においては、住宅周辺事業を中心に増収増益となり、当事業の売上高は996百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益は148百万円（同41.1%増）となりました。

以上の結果、当社グループの連結経営成績は、売上高27,613百万円（前年同期比5.1%減）となりました。利益につきましては営業損失4,559百万円（前年同期は営業損失4,435百万円）、経常損失4,960百万円（前年同期は経常損失4,439百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失3,329百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失2,833百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループでは、通常、住宅事業の売上高が第4四半期に偏る傾向にあることから、相対的に第1四半期の売上高が低くなり、また第1四半期末の受注残高が前連結会計年度末より増加する傾向があります。当第1四半期におきましても、この傾向を受け、前連結会計年度末から資産・負債の主な増減は次のとおりです。

資産は、現金及び預金が3,561百万円減少したものの、未成工事支出金が7,614百万円、仕掛販売用不動産が5,682百万円、販売用不動産が3,514百万円増加したこと等により、総資産は15,949百万円増加し102,418百万円となりました。

また負債は、支払手形・工事未払金等が2,395百万円、未払法人税等が1,435百万円、その他のうち未払費用が2,600百万円減少したものの、未成工事受入金等が13,416百万円、長期借入金が13,209百万円、短期借入金が3,609百万円増加したこと等により、負債合計では、22,897百万円増加し、79,666百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失3,329百万円の計上、剰余金の配当3,623百万円等により6,948百万円減少し、22,751百万円となりました。この結果、自己資本比率は22.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における2027年5月期の連結業績予想につきましては、前回発表（2026年7月14日）の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,176	17,614
受取手形	39	33
完成工事未収入金	674	245
売掛金	756	760
営業貸付金	675	604
販売用不動産	13,570	17,084
未成工事支出金	3,954	11,569
仕掛販売用不動産	20,183	25,866
その他の棚卸資産	1,092	1,051
その他	1,600	3,394
貸倒引当金	△9	△9
流動資産合計	63,713	78,216
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,240	7,001
機械装置及び運搬具（純額）	2,210	2,117
土地	6,360	6,360
その他（純額）	244	266
有形固定資産合計	16,055	15,745
無形固定資産	1,095	1,066
投資その他の資産		
投資その他の資産	6,185	7,970
貸倒引当金	△580	△580
投資その他の資産合計	5,604	7,389
固定資産合計	22,755	24,202
資産合計	86,468	102,418

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	14,680	12,284
短期借入金	12,365	15,975
1年内返済予定の長期借入金	1,266	5,770
未払法人税等	1,540	105
未成工事受入金等	9,599	23,016
完成工事補償引当金	1,786	1,797
賞与引当金	170	637
その他	8,574	4,590
流動負債合計	49,984	64,177
固定負債		
長期借入金	1,464	10,170
資産除去債務	3,230	3,233
その他	2,089	2,084
固定負債合計	6,784	15,488
負債合計	56,768	79,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,310	4,310
資本剰余金	4,280	4,280
利益剰余金	22,790	15,837
自己株式	△1,451	△1,451
株主資本合計	29,929	22,976
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12	12
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△273	△273
その他の包括利益累計額合計	△260	△260
非支配株主持分	30	35
純資産合計	29,700	22,751
負債純資産合計	86,468	102,418

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 6 月 1 日 至 2025年 8 月 31 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2026年 6 月 1 日 至 2026年 8 月 31 日)
売上高	29,095	27,613
売上原価	22,638	21,551
売上総利益	6,457	6,061
販売費及び一般管理費	10,892	10,621
営業損失 (△)	△4,435	△4,559
営業外収益		
受取利息	1	9
受取配当金	0	0
仕入割引	12	14
為替差益	40	7
違約金収入	27	43
持分法による投資利益	0	0
その他	28	23
営業外収益合計	110	98
営業外費用		
支払利息	76	90
シンジケートローン手数料	—	353
その他	38	55
営業外費用合計	114	499
経常損失 (△)	△4,439	△4,960
特別利益		
固定資産売却益	—	3
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	3
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	5	31
特別損失合計	5	32
税金等調整前四半期純損失 (△)	△4,445	△4,989
法人税、住民税及び事業税	99	116
法人税等調整額	△1,713	△1,780
法人税等合計	△1,613	△1,664
四半期純損失 (△)	△2,831	△3,325
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	3
親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△2,833	△3,329

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年6月1日 至 2026年8月31日)
四半期純損失(△)	△2,831	△3,325
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	△0
繰延ヘッジ損益	1	△0
為替換算調整勘定	△54	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	0
その他の包括利益合計	△58	0
四半期包括利益	△2,890	△3,325
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,890	△3,329
非支配株主に係る四半期包括利益	0	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	住宅 事業	不動産 事業	金融 事業	エネルギー 事業	計				
売上高									
注文住宅販売	13,530	—	—	—	13,530	—	13,530	—	13,530
戸建分譲販売	—	10,066	—	—	10,066	—	10,066	—	10,066
リフォーム事業	2,118	—	—	—	2,118	—	2,118	—	2,118
マンション販売	—	74	—	—	74	—	74	—	74
その他	364	821	169	211	1,567	951	2,518	—	2,518
顧客との契約から生 じる収益	16,013	10,962	169	211	27,357	951	28,308	—	28,308
その他の収益	—	783	3	—	786	—	786	—	786
外部顧客への 売上高	16,013	11,746	173	211	28,143	951	29,095	—	29,095
セグメント間の内部 売上高又は振替高	46	3	—	—	50	2,535	2,586	△2,586	—
計	16,060	11,749	173	211	28,194	3,487	31,681	△2,586	29,095
セグメント利益又は 損失(△)	△5,353	745	△20	70	△4,558	105	△4,452	17	△4,435

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家具・インテリア事業、広告代理業及び海外事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額17百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年6月1日 至 2026年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	住宅 事業	不動産 事業	金融 事業	エネルギー 事業	計				
売上高									
注文住宅販売	11,689	—	—	—	11,689	—	11,689	—	11,689
戸建分譲販売	—	10,713	—	—	10,713	—	10,713	—	10,713
リフォーム事業	2,170	—	—	—	2,170	—	2,170	—	2,170
マンション販売	—	182	—	—	182	—	182	—	182
その他	339	316	214	218	1,088	996	2,084	—	2,084
顧客との契約から生 じる収益	14,199	11,212	214	218	25,844	996	26,840	—	26,840
その他の収益	—	766	6	—	772	—	772	—	772
外部顧客への 売上高	14,199	11,978	220	218	26,616	996	27,613	—	27,613
セグメント間の内部 売上高又は振替高	42	3	—	—	45	2,602	2,648	△2,648	—
計	14,241	11,982	220	218	26,662	3,598	30,261	△2,648	27,613
セグメント利益又は 損失(△)	△5,327	456	49	77	△4,743	148	△4,595	35	△4,559

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家具・インテリア事業、広告代理業及び海外事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額35百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年6月1日 至 2026年8月31日)
減価償却費	547百万円	441百万円

3. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況 (連結)

①受注

(単位：百万円)

受注		2026年5月期第1四半期		2027年5月期第1四半期		増減	
セグメント	内容	棟数	金額	棟数	金額	棟数	金額
住宅事業	注文住宅	1,640	38,269	1,568	37,423	△72	△845
	リフォーム	—	2,740	—	2,840	—	100
不動産事業	その他請負	—	—	—	—	—	—
合計		1,640	41,009	1,568	40,263	△72	△745

※解約控除前の数値を記載しております。

②販売

(単位：百万円)

売上		2026年5月期第1四半期		2027年5月期第1四半期		増減	
セグメント	内容	棟数	金額	棟数	金額	棟数	金額
住宅事業	注文住宅	556	13,530	487	11,689	△69	△1,840
	リフォーム	—	2,118	—	2,170	—	52
	その他売上	—	411	—	381	—	△30
	計	556	16,060	487	14,241	△69	△1,818
不動産事業	戸建分譲	292	10,066	325	10,713	33	646
	マンション	—	74	—	182	—	107
	サブリース	—	818	—	805	—	△12
	その他売上	—	789	—	281	—	△508
計		292	11,749	325	11,982	33	232
金融事業		—	173	—	220	—	47
エネルギー事業		—	211	—	218	—	6
その他事業		—	3,487	—	3,598	—	111
調整		—	△2,586	—	△2,648	—	△62
合計		848	29,095	812	27,613	△36	△1,482